

第3章 医療施設調査・病院報告

1 施設数

平成28年10月1日現在の病院数は51施設（精神科病院8施設、一般病院43施設）で、前年と同数であった。一般診療所は725施設で、前年に比べ2施設増加した。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床が3施設減少し、無床が5施設増加した。歯科診療所は273施設で、前年に比べ2施設増加した（表3-1）。

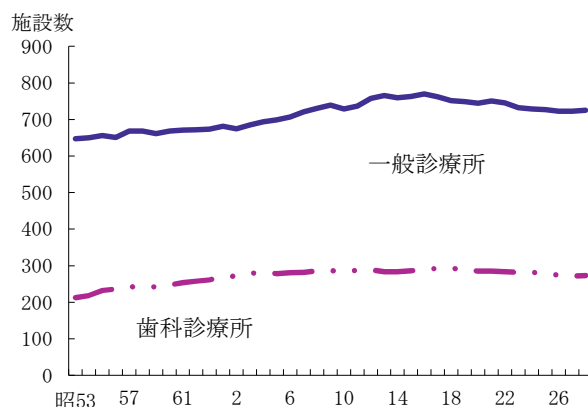
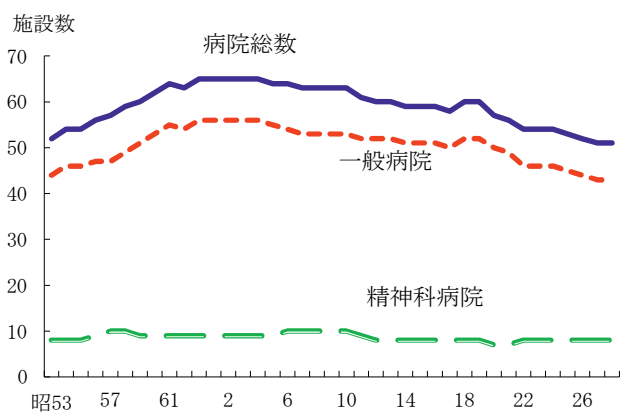
表3-1 医療施設の種別別にみた施設数

	施設数			構成割合(%)	
	平成28年	平成27年	増減数	平成28年	平成27年
総数	1,049	1,045	4	100.0	100.0
病院	51	51	0	4.9 (100.0)	4.9 (100.0)
精神科病院	8	8	-	(15.7)	(15.7)
結核療養所	-	-	-	(-)	(-)
一般病院	43	43	-	(84.3)	(84.3)
一般診療所	725	723	2	69.1 (100.0)	69.2 (100.0)
有床	43	46	△3	(5.9)	(6.4)
無床	682	677	5	(94.1)	(93.6)
歯科診療所	273	271	2	26.0	25.9

注：（）内の数値は病院、一般診療所の総数を100とした場合の構成割合である。

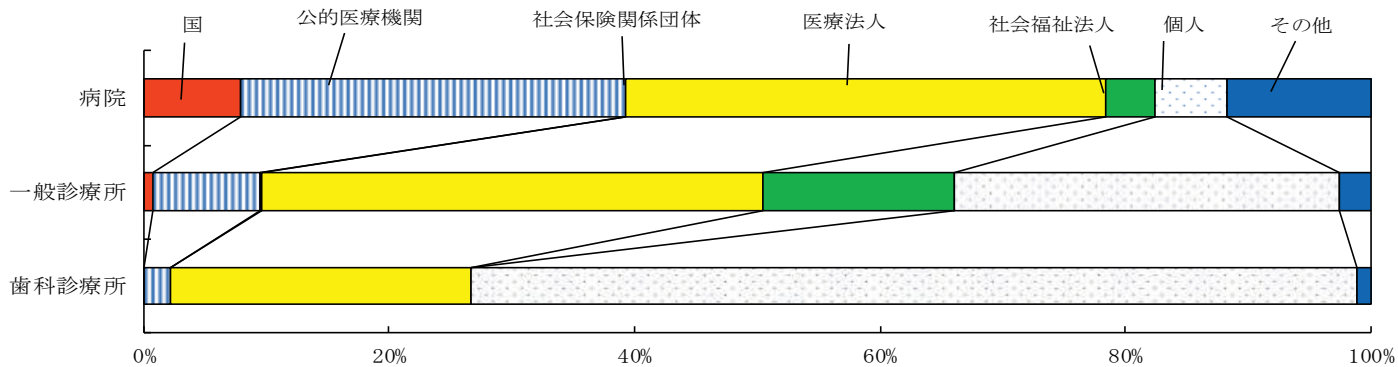
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和61年までは年々増加していたが、昭和63年から平成4年の65施設をピークに緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は7～10施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成16年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成17年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成18年をピークに減少に転じている（図3-1）。

図3-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の39.2%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の31.4%である。一般診療所は平成10年には個人が5割、医療法人が3割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成20年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における平成28年の状況は、医療法人が40.8%、個人が31.3%である。歯科診療所は大部分が個人で、72.2%を占めており、ついで医療法人が24.5%となっている（図3-2）。

図3-2 医療施設の開設者割合（%）



人口10万対施設数を前年と比べると、歯科診療所は0.6増加し、一般診療所は0.9増加した。全国と比べると、病院は0.7、一般診療所は25.1高く、歯科診療所は14.7低くなっている（表3-2）。

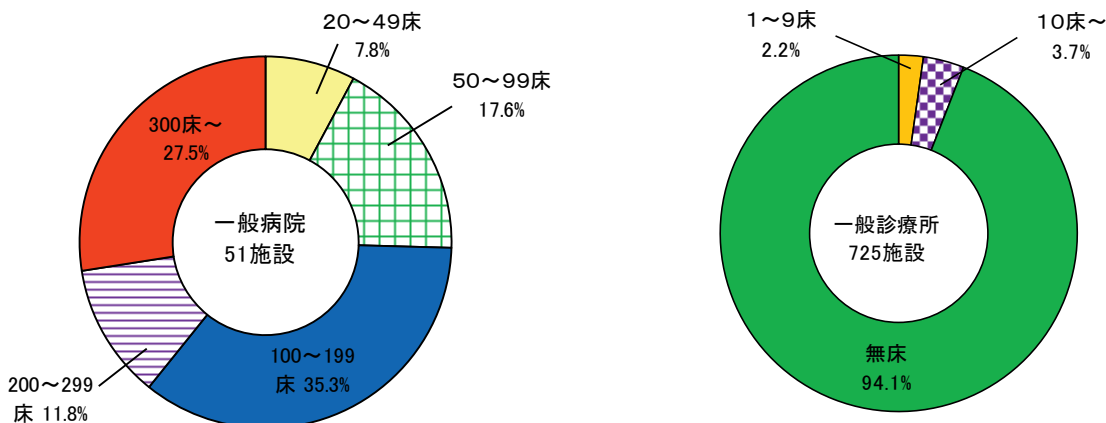
表3-2 人口10万対医療施設数

	島根県		全国
	平成28年	平成27年	平成28年
病院	7.4	7.3	6.7
一般診療所	105.1	104.1	80.0
歯科診療所	39.6	39.0	54.3

一般病院を病床規模別にみると、20~49床が7.8%、50~99床が17.6%、100~199床が35.3%、200~299床が11.8%、300床以上が27.5%であった。

一般診療所は1~9床が2.2%、10床以上が3.7%、残りの94.1%は無床である（図3-3）。

図3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



2 病床数

平成 28 年 10 月 1 日現在の病院の病床数は前年に比べ 160 床減少した。病床の種別にみると、療養病床は 35 床増加し、精神病床が 29 床、一般病床が 125 床それぞれ減少した。

また、一般診療所の病床数は前年から 37 床減少した（表 3-3）。

表 3-3 医療施設の種別による病床数

	病 床 数			構成割合 (%)	
	平成28年	平成27年	増減数	平成28年	平成27年
総 数	11,153	11,313	△ 160	100	100
病 院	10,652	10,775	△ 123	95.5 (100.0)	95.2 (100.0)
精神病床	2,295	2,324	△ 29	(21.5)	(21.6)
感染症病床	30	30	-	(0.3)	(0.3)
結核病床	16	20	△ 4	(0.2)	(0.2)
療養病床	2,112	2,077	35	(19.8)	(19.3)
一般病床	6,199	6,324	△ 125	(58.2)	(58.7)
一 般 診 療 所	501	538	△ 37	4.5	4.8
歯 科 診 療 所	-	-	-	-	-

注：（）内の数値は病院の病床数総数を100とした場合の構成割合である。

人口 10 万対病床数を前年と比べると、病院では、精神病床が 2.2、一般病床が 12.6 減少し、療養病床が 6.9 増加した。

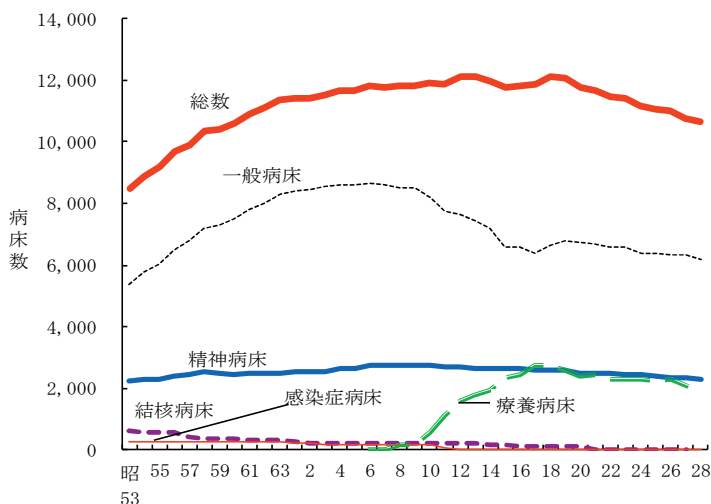
また、一般診療所は前年より 4.9 減少した。病院における人口 10 万対病床数は、全国よりかなり高くなっている（表 3-4）。

表 3-4 人口 10 万対病床数

	島根県		全国
	平成28年	平成27年	平成28年
病 院	1,543.8	1,551.8	1,229.8
精神病床	332.6	334.7	263.3
感染症病床	4.3	4.3	1.5
結核病床	2.3	2.9	4.2
療養病床	306.1	299.1	258.5
一般病床	898.4	910.8	702.3
一 般 診 療 所	72.6	77.5	81.5

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成 18 年をピークに減少に転じた。一般病床は平成 10 年以降、療養病床の増加に伴い減少傾向にある。一方、療養病床は平成 8 年以降、年々増加していたが、平成 18 年の 2,740 床をピークに減少している（図 3-4）。

図3-4 病床の種別による病院の病床数



注1：)「一般病床」は、昭和 62 年～平成 4 年は「その他の病床」、平成 6 年～平成 12 年は「その他の病床（療養型病床群）をのぞく」、平成 13・14 年は「一般病床」及び経過的其他の病床（経過的其他療養型病床をのぞく）」である。

注2：)「療養型病床」は、平成 12 年までは「療養病床群」であり、平成 13・14 年は「療養病床」及び「経過的其他療養型病床群」である。

3 診療科目

県内 51 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 48 施設で、ついで整形外科が 35 施設、外科が 33 施設となっている。平成 27 年と比べると呼吸器内科等 8 診療科目が増加し、乳腺外科等 4 診療科目が減少した。

一般診療所 725 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 554 施設であり、ついで小児科が 164 施設、消化器内科（胃腸内科）が 132 施設、循環器内科が 90 施設となっている。平成 27 年と比べると、呼吸器内科等 10 診療科目が増加し、内科等 6 診療科目が減少した（表 3-5）。

表 3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病 院			一 般 診 療 所		
	平成28年	平成27年	増減数	平成28年	平成27年	増減数
内科	48	48	-	554	557	△ 3
呼吸器内科	17	16	1	40	38	2
循環器内科	24	24	-	90	92	△ 2
消化器内科 (胃腸内科)	21	20	1	132	131	1
腎臓内科	7	7	-	2	2	-
神経内科	32	31	1	27	28	△ 1
糖尿病内科 (代謝内科)	6	5	1	11	11	-
血液内科	4	3	1	-	-	・
皮膚科	22	22	-	52	52	-
アレルギー科	2	2	-	33	32	1
リウマチ科	3	3	-	20	19	1
感染症内科	-	-	・	-	-	・
小児科	26	26	-	164	166	△ 2
精神科	24	24	-	51	50	1
心療内科	6	6	-	31	30	1
外科	33	33	-	65	64	1
呼吸器外科	8	8	-	-	-	・
循環器外科 (心臓・血管外科)	7	7	-	-	-	・
乳腺外科	2	3	△ 1	2	2	-
気管食道外科	-	-	・	-	-	・
消化器外科 (胃腸外科)	1	2	△ 1	3	3	-
泌尿器科	21	21	-	21	21	-
肛門外科	4	4	-	16	16	-
脳神経外科	15	14	1	10	10	-
整形外科	35	35	-	60	59	1
形成外科	8	7	1	7	7	-
美容外科	-	-	・	2	3	△ 1
眼科	21	21	-	50	49	1
耳鼻いんこう科	22	22	-	29	28	1
小児外科	2	3	△ 1	2	2	-
産婦人科	16	16	-	17	17	-
産科	1	1	-	2	2	-
婦人科	5	5	-	14	14	-
リハビリテーション科	30	30	-	51	52	△ 1
放射線科	20	20	-	21	21	-
麻酔科	21	21	-	11	11	-
病理診断科	7	7	-	-	-	・
臨床検査科	-	1	△ 1	-	-	・
救急科	2	1	1	-	-	・
歯科	6	6	-	7	7	-
矯正歯科	-	-	・	-	-	・
小児歯科	-	-	・	-	-	・
歯科口腔外科	12	12	-	-	-	・

4 利用状況

平成 28 年の 1 日平均在院患者数は 8,546 人であり、前年から 107 人減少した。うち、精神科病院は 24 人、一般病院は 82 人減少した。1 日平均新入院患者数は 291 人で、前年から 2 人増加した。1 日平均退院患者数は 292 人で、前年から 3 人増加した。1 日平均外来患者数は 7,265 人で、前年から 87 人減少した（表 3-6）。

表 3-6 病院・病床の種類別にみた 1 日平均在院・新入院・退院・外来患者数

	1 日平均在院患者数			1 日平均新入院患者数		
	平成28年	平成27年	増減数	平成28年	平成27年	増減数
病院総数	8,546	8,653	△ 107	291	289	2
精神科病院	1,513	1,537	△ 24	5	5	-
一般病院	7,034	7,116	△ 82	287	285	2
病床総数	8,546	8,653	△ 107	291	289	2
精神病床	1,972	1,997	△ 25	8	8	-
感染症病床	-	-	-	-	-	-
結核病床	6	7	△ 1	-	-	-
療養病床	1,774	1,836	△ 62	9	10	△ 1.0
一般病床	4,795	4,812	△ 17	274	272	2

	1 日平均退院患者数			1 日平均外来患者数		
	平成28年	平成27年	増減数	平成28年	平成27年	増減数
病院総数	292	289	3	7,265	7,352	△ 87
精神科病院	5	5	-	379	386	△ 7
一般病院	287	284	3	6,886	6,966	△ 80
病床総数	292	289	3	・	・	・
精神病床	8	8	-	・	・	・
感染症病床	-	-	-	・	・	・
結核病床	-	-	-	・	・	・
療養病床	12	12	-	・	・	・
一般病床	271	269	2	・	・	・

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

平成 28 年の病院の病床利用率は、総数が 79.9%、精神病床が 85.3%、療養病床が 84.0%、一般病床が 77.0%、結核病床が 33.4%、感染症病床が 0.0%であった。（図 3-5）

図 3-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移

